

三郎岳山頂からの眺望



さあ 行こう原山 登ろう 三郎岳

団体名 三郎岳景観石仏群保存会

二等三角点

三郎岳

石仏群



大和盆地・二上山を始め、金剛・葛城山系から吉野山系、宇陀郡までの山が望める場所である。

三郎岳は、室生、榛原地域にまたがり国土地理院の二等三角点がある山である。三郎岳の標高は八七九メートルあり、休憩と展望ができる。



三郎岳の山頂付近の断崖に、石仏の体がある。

これは石割集落の祖である石割亀松（石松）氏が、大正時代に三年もの年月をかけて彫らせたものである。

原山地区草葺き民家群

原山地区草葺き屋根民家群

この地区は、山の頂上部に開けた集落である。

ここには草葺き民家が集团的に残されており、日本の原風景が色濃く残されている。

昔を懐かしむことができる風景であり、貴重な風景である。



石仏群



ふるさと元気村



ふるさと元気村

地域の環境や特性を活かし「文化芸術」をテーマに、地域や地域に住む人々が元気になるための小学校をリニューアルしたものの。芸術家が一定期間滞在しながら、創作活動ができるアート工房を提供し、創作された作品を陳列している。また地域の自然や文化を活用したイベントの開催とともに、地域の食文化を活性化するための「ふるさと」により、来訪者と心の交流を図っている。

伊勢本街道の道標

伊勢本街道の道標

石割峠の少し下に「右伊勢、左原山道」宝暦乙亥歳（一七五五年）十月吉日と刻まれた一メートル位の道標が残っている。

石割峠

伊勢本街道で二番の難所とされている。

標高六九五メートルの狭隘な山道で日中もほの暗い険しい交通の難所で、弘法井戸の伝説も残っている。



法円寺

布峠



法円寺（浄土真宗本願寺派）天誅組主将の祖先である中山大納言兼親卿の位牌が納められている。安政二年、賢親の五十年祭の時に中山家子孫により梵鐘が铸造され寄贈された。布峠は、法円寺の梵鐘が铸造された所といわれている。

明開寺（日蓮宗）

大正の末年石割亀松（石松）開山により建立され石割山明開寺と号する。三本松の青葉寺が法類である。



明開寺